

Tidal Enterprise Orchestrator : コンテンツの小さなセグメントのテスト

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[始点と終点](#)

[始点から実行](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、コンテンツの小さいセグメントをテストするために使用する方法について説明します。

注：これだけではない方法ですが、便利です。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Tidal Enterprise Orchestrator 2.1.2以降に基づくものです。プロセスオーサリングおよびプログラミングの概念に関する一般的な知識が必要です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

始点と終点

コンテンツのセグメント（コードのセグメントと同様）を簡単にテストするには、開始点と終了点を使用します。プロセス・エディタで、ツールボックス(左端)をクリックし、[Logic]タブに移動して、これらの2つのコンポーネントを検索します。コンテンツに始点をドラッグアンドドロップして、始点を作成します。「完了」コンポーネント（終点）をドラッグアンドドロップするこ

ともできます。状況に応じて、「完了」を別のものに変更できます。

始点から実行

コンテンツの適切な部分の後に開始点に名前を付けて終了点を配置した後、アドホック処理を実行し、アドホック実行メニューから適切な開始点を選択できません。この操作は、コンテンツをその始点から最初の終点まで実行するだけです。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)